

アスベスト被害の防止と救済を セミナーに50人が参加

9月26日に札幌で「アスベストセミナー2020～アスベスト被害の防止と救済のために」が開かれました。この日は、外山尚紀さん（東京労働安全衛生センター）が「大気汚染防止法『改正』と残される課題」と題して講演し、今年5月に改正された大気汚染防止法の前進面とともに、調査・分析・検査の信頼性の確保や除去中の管理の強化などの課題について明らかにしました。また、細川蒼至雄医師（勤医協札幌病院）が被害の現状と肺がんの救済など「アスベスト被害と医療機関の役割」について講演しました。セミナーには医療関係者や患者の家族、弁護士、自治体職員・議員、労働者・市民など50人が参加しました。

「公契約条例」オンライン学習会

「札幌市公契約条例の制定を求める会」主催の「公契約条例オンライン学習会」が9月19日におこなわれ、道外をふくめて28人が参加しました。学習会の講師は永山利和さん（元日本大学教授・東京都世田谷区公契約適正化委員会副会長）で、全国ですすんでいる公契約条例制定のとりくみの歴史的経緯や建設産業政策の転換などの背景、条例の特性と効果的運用をはかる方法、最低賃金制度との関連などについて学習しました。

北海道開発局から文書回答

9月11日に北海道開発局から、道本部建設部会と労災職業病部会が3月30日に提出した「建設労働者の賃金・労働条件改善に関する要求書」に対する文書回答がありました。例年は交渉の場を設けていましたが、今年はコロナ禍との関係で文書回答となりました。2020年度公共工事設計労務単価と「建設労働者の雇用に伴い必要な経費」の周知、開発局発注工事における適正な賃金の支払い、社会保険加入、年次有給休暇の付与、「週休2日制」により収入減とならない対策、建退共の完全適用、じん肺防止・根絶などについてそれぞれ回答されました。

北海道鉄道本部・パークゴルフ交流大会

北海道鉄道本部は9月29日に三笠市で「パークゴルフ交流大会」を開き16人が参加しました。例年はこの時期に「観楓会」と合わせて一泊2日で開催してきましたが、当初予定していた小樽市が新型コロナウイルスの感染が心配される状況のため、開催場所を変更してパークゴルフのみにしたものです。春以来、コロナの影響で統一行動など組合員が集まり活動することを控えていたこともあり、この日は秋晴れのもと、久しぶりに顔を合わせた仲間たちと近況を語り合うなど交流を深めました。優勝は昨年（準優勝）の雪辱を果たした苗穂支部の最上さん、準優勝は町内会の皆さんと腕を磨いてきた苗穂支部の梅木さんでした。プレーの後は隣接する「太古の湯」で昼食と温泉をいただき、楽しい秋の一日を過ごしました。